

I 病院の概要

1 沿革

昭和初期に野山村民の医療の不安からの脱出のため、「自分たちの命は自分たちで守ろう」と産業組合連盟の有志が各地で診療設置運動に立ち上がったことが契機となり、昭和7年11月、組合立一関実費診療所として開設されたのが始まりであり、昭和25年11月1日に県営移管され、岩手県立磐井病院となった。

県営移管時の概要は、医師13人、薬剤師1人、看護婦33人、その他35人、計82人であり病床数150床、1市7ヵ村54,806人の診療圏であった。

県立真滝診療所は、1ヵ村3,000人、病床数3床、医師1人、看護婦2人、その他1人、県立平泉診療所は、1ヵ村6,720人、医師1人、看護婦3人、その他2人であった。

私的医療機関の都市偏在に対して、山間農村部への医療に力を注ぎ、これが広域医療の中心的病院へ発展する基礎となった。

昭和41年6月に、一関駅前から山目字前田13番地に病床数222床として新築移転し、病床数の増床、高度医療器械の整備を進めながら、平成4年7月に現在の5病棟体制305床となった。

医学、医術の急速な進歩と拡大、医療需要に対応するため、数回にわたって増改築を行うとともに、診療体制の充実や高度医療器械等の整備を図り、地域医療の確保に努めてきたが、敷地及び建物が狭く老朽化し、今後の新たな医療需要に対応することが極めて困難な状況となったことから、両磐保健医療圏の中核病院として機能を十分に果たすため、平成15年9月に一関市狐禅寺字大平及び峯下地内に新磐井病院の建築を開始し、平成18年4月1日、標榜診療科20診療科、病床315床の新しい磐井病院として開院した。

2 病院年譜

昭和10年 1月 7日	購買利用組合磐井病院 (29床)
昭和11年10月 1日	岩手県医薬購買利用組合連合会に移管 医薬連磐井病院と改称
昭和14年12月 1日	病棟増築 (52床)
昭和16年12月 1日	岩手県信用販売購買利用組合連合会に移管 研産連磐井病院と改称
昭和18年12月 1日	岩手県農業会に移管 農業会磐井病院と改称
昭和21年 4月	真滝診療所開設
昭和22年 9月14日～16日	キャサリン台風被災
昭和23年 9月16日～17日	アイオン台風被災
昭和23年11月 1日	岩手県厚生農業共同組合連合会に移管 厚生連磐井病院と改称(98床)
昭和25年11月 1日	岩手県に移管 岩手県立磐井病院と改称 内科・小児科・外科・産婦人科・耳鼻科・眼科・物療科 計150床
昭和26年 8月 1日	真滝診療所、平泉診療所を磐井病院附属診療所に改組
昭和30年 3月31日	平泉診療所地元移管
昭和30年11月	患者収容定員変更 一般121床、結核38床、計159床
昭和33年 6月	患者収容定員変更 172床

昭和 33 年 10 月	総合病院名称使用承認、基準看護及び基準給食実施承認
昭和 35 年 4 月 1 日	県立一関高等看護学院実習病院となる。
昭和 35 年 8 月	皮膚科、整形外科開設
昭和 38 年 5 月	患者収容定員変更 一般 186 床、結核 36 床、伝染 10 床、計 232 床
昭和 41 年 6 月	移転新築 内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・ 皮膚科・理学診療科 一般 186 床、結核 36 床、計 222 床
昭和 42 年 5 月	救急指定病院指定告示
昭和 55 年 3 月	救急サブセンター附設 30 床 計 252 床
昭和 55 年 5 月	二次救急医療実施（病院輪番制）
昭和 55 年 9 月	脳神経外科開設
昭和 57 年 6 月	結核病床 36 床を一般病床に転用
昭和 62 年 12 月	形成外科開設
昭和 63 年 4 月	泌尿器科開設
平成 元年 7 月	待合ホール、手術棟の改築
平成 3 年 4 月	麻酔科開設
平成 4 年 7 月	診療等増設（第 5 病棟 53 床）計 305 床
平成 8 年 4 月	第一内科を内科、消化器科に、第二内科を循環器科に改編
平成 9 年 4 月	救急処置室増築
平成 10 年 4 月	呼吸器科開設
平成 13 年 4 月	神経内科開設
平成 14 年 4 月	心療内科開設、緩和医療科設置
平成 15 年 9 月	新病院建築工事開始
平成 15 年 12 月 15 日	新磐井病院・南光病院安全祈願
平成 18 年 3 月 27 日	新磐井病院・南光病院落成式
平成 18 年 3 月 31 日	新磐井病院に入院中の患者を移送（移送患者 57 人）
平成 18 年 4 月 1 日	移転新築 内科・心療内科・神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・小 児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器 科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・麻 酔科・歯科・放射線科 一般 305 床、結核 10 床、計 315 床
平成 19 年 1 月	病院機能評価受審完了
平成 19 年 3 月	附属真滝診療所閉所
平成 21 年 7 月	D P C 対象病院
平成 22 年 2 月	呼吸器科休診
平成 22 年 4 月	心臓血管外科開設 附属花泉地域診療センター民間へ経営移管
平成 23 年 4 月	地域周産期母子医療センター
平成 24 年 4 月	附属花泉地域診療センター民間から経営移管

平成 25 年 10 月 1 日	地域医療支援病院
平成 26 年 2 月	病院機能評価審査更新
平成 26 年 4 月	呼吸器科再開
平成 27 年 8 月	眼科再開
平成 28 年 6 月	自治体立優良病院全国自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会会長表彰
平成 29 年 1 月	総合診療科開設
平成 29 年 6 月	自治体立優良病院総務大臣表彰
平成 30 年 3 月	病院機能評価審査更新
平成 30 年 6 月	患者支援センター開設
令和 01 年 8 月	「赤ちゃんにやさしい病院 (BHF : Baby Friendly Hospital)」に認定

3 病院施設の状況 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

【土地】 病院敷地面積 70,806 m²

合同公舎敷地面積 5,522 m²

一般公舎敷地面積 2,366 m²

【建物】 病院：地下 1 階、地上 5 階建 延床面積 25,797.07 m²

一般公舎： 4 棟

合同公舎： 2 棟 (定員 38 人)

借上公舎： 37 棟

【附属施設】 駐車場：964 台 (南光病院含む)

4 主な医療器械の整備状況 (購入額 10,000 千円以上) (令和 2 年 3 月 31 日現在)

取得年月日	名称	規格	数量
平成 10.07.28	低温プラズマ滅菌装置	J&J ST100S	1
平成 11.09.30	循環器用 X 線診断装置	東芝 インフィニ NB	1
平成 12.12.15	心臓用超音波診断装置	アキュソニック 512	1
平成 13.03.30	診断用 X 線テレビ装置	島津 シマビジョン 3500DR	1
平成 14.03.25	シンチレーションカメラ	東芝 E-CAM	1
平成 14.09.30	外科 (脳外科) 用手術顕微鏡	ライカ M500-N	1
平成 15.03.31	眼科用手術顕微鏡	カールツァイス VIS	1
平成 17.12.28	病理画像伝送システム	フィンガリンク WarpScope 送信側	1
平成 18.01.31	医用リニアアクセラレータ	バリオン CLINAC-0BI	1
平成 18.01.31	内視鏡手術器械システム	エムシーメテikal SCB-PC 他	1
平成 18.02.28	リアルタイムパーチャルソノグラフィー	日立 EUB-8500 他	1
平成 18.02.28	全自動生化学分析装置	東芝 ARCHITECT Ci8200	1
平成 18.02.28	診断用一般撮影装置 (DR)	フジフィルム CALNEO Smart	1
平成 18.02.28	循環器動画・患者情報ネットワークシステム	カテックス Cardiac Station 特型	

平成 18.02.28	R I 準備室機器	千代田テクノ AZ-101Y 他	1
平成 18.03.20	全身用コンピュータ断層撮影装置	シーメンス Somatom Sensation Cardiac64	1
平成 18.03.20	診断用 X 線テレビ装置 (DR)	日立メディコ medites CREA	1
平成 18.03.20	全自動洗浄・除染・乾燥装置	シャープ MU-5504(4 槽式)	1
平成 19.07.31	血管内超音波画像診断装置	フクダ VolcanoS5	1
平成 21.02.27	超音波診断装置	ジーイー横河メディカル Voluson i	1
平成 21.12.21	デュアルプレーン血管撮影装置	島津 BRANSIST Safier VC17	1
平成 22.01.29	超音波内視鏡システム	オリンパス EU-ME1	1
平成 23.02.14	循環器用超音波診断装置	フィリップス iE33	1
平成 24.03.30	放射線情報システム	横河電機 ShadeQuest 他	1
平成 24.03.30	外科 (脳外科) 用手術顕微鏡	カルツァイス OPMI Pentero900	1
平成 24.03.31	診断用 X 線テレビ装置	島津 シビシジョン 3500VP	1
平成 25.03.31	周産期電子カルテシステム	ミラ ハローベーター	1
平成 25.03.31	手術台	マック ユーノ OTN	1
平成 26.03.31	臨床検査システム	A&T CLINILAN GL2	1
平成 26.03.31	手術部門システム	フィリップス Fortec ORSYS	1
平成 26.03.31	薬剤科支援システム	トシヨー Xana-2720EU 他	1
平成 26.03.31	超音波診断装置	GE Volison S8	1
平成 26.8.29	全身麻酔器 (装置)	ドレーゲル アポロ	1
平成 26.09.24	診療情報統合システム	アストロステージ STELLAR	1
平成 26.12.06	低温プラズマ滅菌装置	J&J ST100S	1
平成 27.11.19	眼科用画像管理システム	ファインテックス Claio C-note	1
平成 27.11.19	レーザー光凝固装置	トプコン PASCAL Synthes	1
平成 28.06.30	4 D 超音波画像診断装置	GE LOGIQ E9	1
平成 29.02.20	生体情報モニタ	フィリップス IntelliVue MX700	1
平成 29.01.31	乳房用 X 線撮影装置	富士フィルムメディカル AMULET Innovality	1
平成 29.03.31	超伝導磁気共鳴画像診断装置	シーメンス MAGNETOM Aera 1.5T	1
平成 29.03.31	自動洗浄・除染・乾燥装置	エムエス DS1000 2S	1
平成 29.08.17	遠隔病理画像診断システム	フィンガールリンク バッチャルマイクロスコプ 他	1
平成 29.10.30	自動採血管準備装置	テクノメディカ BC・ROBO-8001/T4262	1
平成 29.10.31	パルスホルミウム・ヤグレーザ	ホストン Lumenis Pulse 120H	1
平成 29.12.18	放射線モニタリングシステム	千代田テクノ MSR-3000 他	1
平成 30.03.22	耳鼻科手術内視鏡システム	カルストルツ IMAGE1 SPISES	1
平成 30.09.27	眼科用手術顕微鏡	カルツァイスメディック (OPMI Lumera T)	1
平成 30.12.05	汎用 X 線透視診断装置	島津 SONIALVISION G4	1
平成 31.03.15	病理業務支援システム	フィンガールリンク PATH Dimension	1
令和 01.08.26	全身用コンピュータ断層撮影装置	キャノン Aquilion Lightning Helios	1
令和 01.09.18	膀胱鏡システム	オリンパス VISERA ELITE2	1

令和 01.09.30	診療情報統合システム	アストロステージ STELLAR/Nazca/NazcaRIS	1
令和 01.09.30	文章進捗管理システム	アストロステージ Sophia Report	1
令和 02.03.13	3D内視鏡手術システム	オリンパス VISERA ELITE OTV-S190	1
令和 02.03.16	臨床検査システム	A&T/ベックマン・コールター CLINILAN GL3/SMILE Honest	1
令和 02.03.25	薬剤業務支援システム	トーション 調剤支援システム	1
令和 02.03.31	手術部門システム	フィリップス ORSYS	1
令和 02.03.31	HR ジョイントシステム	テルモ HR ジョイント	1

5 診療圏人口・当院の患者状況

(単位：人)

市町村名	人口 (令和2年3月現在)	当院受診状況(延人数)(令和元年度)	
		外来患者数	入院患者数
一関市	114,438	104,581	71,846
平泉町	7,468	6,873	5,409
合計	121,906	111,454	77,255

6 標榜診療科(21診療科)

内科、心療内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科

【院内標榜診療科】

総合診療科、救急科、緩和医療科、新生児科、画像診断科、放射線治療科、血液内科

7 病床数・平均在院日数(令和2年3月31日現在)

病棟	病床数	入院診療科	平均在院日数
2 病棟	51 床	外科、救急科、歯科口腔外科	9.9 日
3 西病棟	60 床	小児科、新生児科、産婦人科、形成外科	7.1 日
3 東病棟	60 床	整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科	10.5 日
4 西病棟	50 床	消化器科、眼科	7.3 日
	10 床	結核病棟	10.0 日
4 東病棟	60 床	呼吸器科、循環器科、皮膚科、放射線治療科、神経内科、救急科	9.8 日
5 病棟	24 床	緩和医療科	24.9 日
合計	315 床		9.6 日

8 施設基準（令和2年3月31日現在）

- (1) 初診料（歯科）の注1に掲げる基準
- (2) 歯科外来診療環境体制加算1
- (3) 急性期一般入院料1
- (4) 結核病棟入院基本料（7対1）
- (5) 総合入院体制加算3
- (6) 超急性期脳卒中加算
- (7) 診療録管理体制加算1
- (8) 医師事務作業補助体制加算1（15対1）
- (9) 急性期看護補助体制加算（50対1）
- (10) 看護職員夜間16対1配置加算1
- (11) 療養環境加算
- (12) 重症者等療養環境特別加算
- (13) 栄養サポートチーム加算
- (14) 医療安全対策加算1、医療安全対策地域連携加算1
- (15) 感染防止対策加算1、感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用支援加算
- (16) 患者サポート体制充実加算
- (17) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- (18) ハイリスク妊娠管理加算
- (19) ハイリスク分娩管理加算
- (20) 呼吸ケアチーム加算
- (21) 後発医薬品使用体制加算1
- (22) 病棟薬剤業務実施加算1
- (23) データ提出加算2（許可病床数200床以上）
- (24) 入退院支援加算1、地域連携診療計画加算、入院時支援加算
- (25) 認知症ケア加算1
- (26) 精神疾患診療体制加算
- (27) 小児入院医療管理料4
- (28) 緩和ケア病棟入院料1
- (29) 糖尿病合併症管理料
- (30) がん性疼痛緩和指導管理料
- (31) がん患者指導管理料イ・ロ・ハ
- (32) 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- (33) 院内トリアージ実施料
- (34) 夜間休日救急搬送医学管理料、救急搬送看護体制加算
- (35) 外来放射線照射診療料
- (36) ニコチン依存症管理料
- (37) ハイリスク妊産婦共同管理料（I）
- (38) がん治療連携計画策定料
- (39) 肝炎インターフェロン治療計画料

- (40) 薬剤管理指導料
- (41) ハイリスク妊産婦連携指導料 1
- (42) 医療機器安全管理料 1・2 (歯科)
- (43) 歯科疾患管理料の注 11 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
- (44) 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料 (緩和ケア・褥瘡ケア・人工肛門ケア・人工膀胱ケア)
- (45) 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
- (46) 精密触覚機能検査
- (47) H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
- (48) 検体検査管理加算 (Ⅱ)
- (49) 遺伝カウンセリング加算
- (50) 胎児心エコー法
- (51) ヘッドアップティルト試験
- (52) 神経学的検査
- (53) コンタクトレンズ検査料 1
- (54) 小児食物アレルギー負荷検査
- (55) C T 透視下気管支鏡検査加算
- (56) 画像診断管理加算 1
- (57) C T 撮影及びMR I 撮影
- (58) 冠動脈C T 撮影加算
- (59) 心臓MR I 撮影加算
- (60) 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- (61) 外来化学療法加算 1
- (62) 無菌製剤処理料
- (63) 脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅱ)、初期加算
- (64) 運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)、初期加算
- (65) 呼吸器リハビリテーション料 (Ⅰ)、初期加算
- (66) がん患者リハビリテーション料
- (67) 歯科口腔リハビリテーション料 2
- (68) 硬膜外自家血注入
- (69) 人工腎臓 慢性維持透析を行った場合 1
- (70) 導入期加算 1
- (71) 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- (72) 組織拡張器による再建手術 (乳房 (再建手術) の場合に限る) 一次再建・二次再建
- (73) 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)
- (74) 乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)
- (75) 乳腺悪性腫瘍手術 (乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴わないもの) 及び乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴うもの))
- (76) ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後) (一次一期的再建・一次二期的再建・二次再建)

- (77) 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）等
- (78) ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- (79) ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
- (80) 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
- (81) バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
- (82) 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- (83) 膀胱水圧拡張術
- (84) 医科点数表第2章第10部手術の通則16に掲げる手術
- (85) 輸血管理料 I
- (86) 輸血適正使用加算
- (87) 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- (88) 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- (89) 麻酔管理料（I）
- (90) 放射線治療専任加算
- (91) 外来放射線治療加算
- (92) 高エネルギー放射線治療
- (93) 1回線量増加加算
- (94) 画像誘導放射線治療（IGRT）
- (95) 体外照射呼吸性移動対策加算
- (96) 定位放射線治療
- (97) 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
- (98) 保険医療機関間の連携による病理診断（送付側）
- (99) 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製（送信側）
- (100) 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診（送信側）
- (101) クラウン・ブリッジ維持管理料
- (102) 入院時食事療養（I）

9 職員体制・医師の状況・組織図（令和2年3月31日時点）

（1）職員体制

（単位：人）

区 分	正 規	常勤臨時	時間制臨時	計
医 師 ・ 歯 科 医 師	59	2		61.00
研 修 医		16		16.00
看 護 師	216	15	11.6	242.60
助 産 師	19			19.00
准 看 護 師		5	1.31	6.31
看 護 補 助 者		19	21.61	40.61
薬 剤 師	17			17.00
薬 剤 助 手		5	0.51	5.51
診 療 放 射 線 技 師	16		0.61	16.61
診 療 放 射 線 補 助 員		1		1.00
臨 床 検 査 技 師	13	3	0.77	16.77
臨 床 検 査 補 助 員		1	0.74	1.74
理 学 療 法 士	4	1		5.00
作 業 療 法 士	2			2.00
言 語 聴 覚 士	2			2.00
臨 床 工 学 技 士	4			4.00
歯 科 衛 生 士		4		4.00
視 能 訓 練 士	2			2.00
医 療 安 全 管 理 専 門 員	1			1.00
管 理 栄 養 士	6	1		7.00
栄 養 士		3		3.00
調 理 師	16	5	1.99	22.99
調 理 手		7	1.07	8.07
事 務 員	23	15	0.74	38.74
医 療 社 会 事 業 士	3	1		4.00
医 療 ク ラ ー ク		27	0.41	27.41
ボ イ ラ ー 技 士		1		1.00
作 業 手		5		5.00
運 転 技 士		1		1.00
合 計	404	137	41.36	582.36

注1：育児休業者・退職者を除く現員であること。

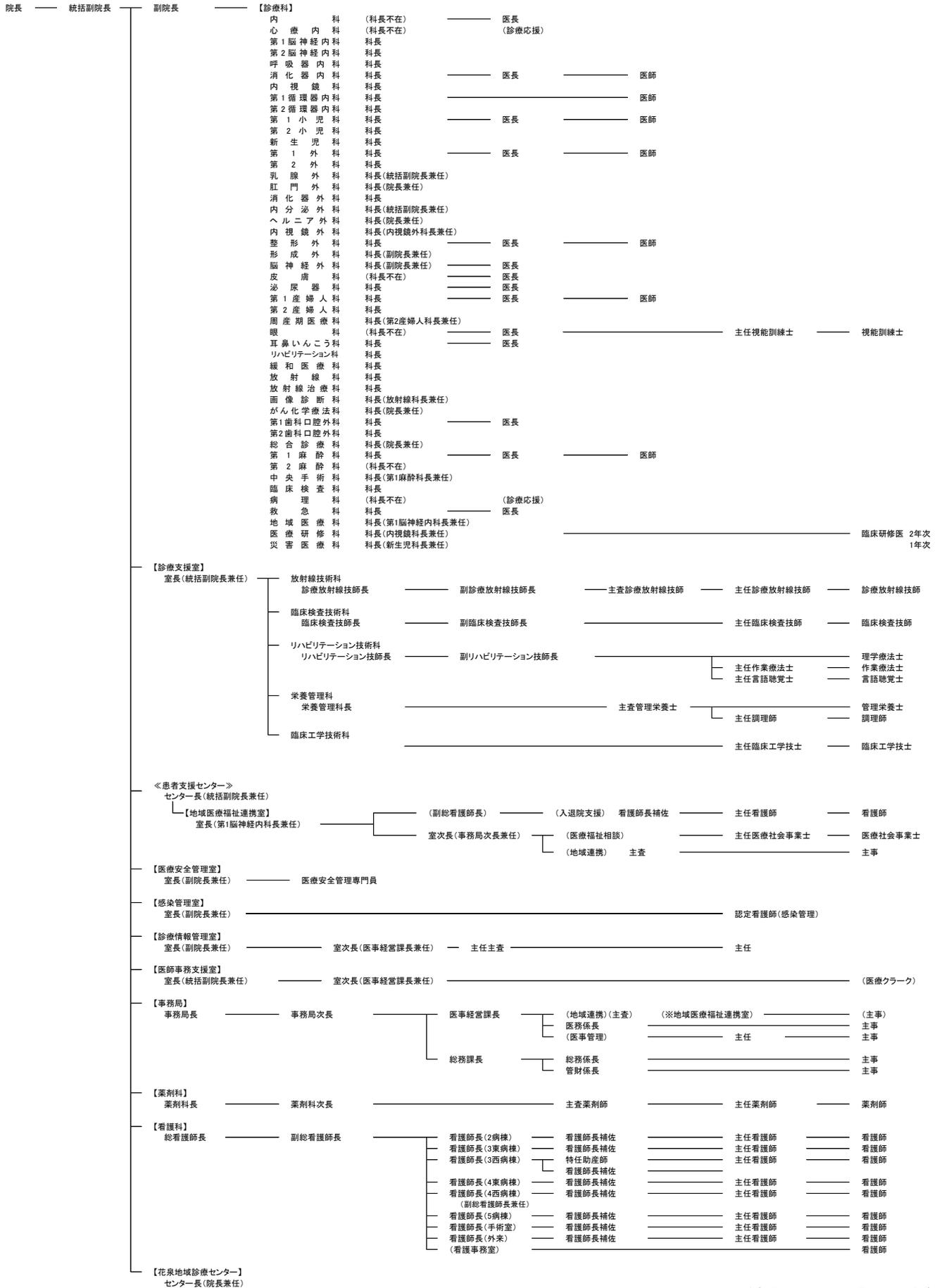
2：時間制臨時は常勤換算によること。

(2) 医師の状況

(単位：人)

診療科	正 規	常勤臨時	計	医務嘱託医・診療応援
内 科	1		1	中央病院・月 2 回 (血液内科)
消 化 器 科	7		5	東北大学・週 4 回 JCHO仙台病院・週 3～4 回
呼 吸 器 科	1		1	胆沢病院・月 2 回
循 環 器 科	5		5	
脳神経内科	2		2	岩手医科大学・週 2 回
心 療 内 科				東北大学・隔週 1 回
小 児 科	5	1	5	岩手医科大学・月 4 回 もりおかこども病院・月 2 回 フリーランス医師・週 3 回
外 科	9		9	東北大学・月 4 回 中央病院・月 2 回
整 形 外 科	3		3	東北大学・週 1 回
脳神経外科	3		3	東北大学・月 2 回
形 成 外 科	1	1	2	岩手医科大学・月 5 回
皮 膚 科	1		1	岩手医科大学・週 2 回
泌 尿 器 科	2		2	東北大学・週 1～2 日、月 2 回 (週末待機) JCHO仙台病院・月 1 回
産 婦 人 科	6		6	東北大学・週 3 日、月 2 回 (週末待機) 宮城県立がんセンター・月 1 回 (土・日待機)
眼 科	1		1	岩手医科大学・週 1 日
耳鼻いんこう科	2		2	東北大学・週 1 日、月 1 回 (週末待機)
放 射 線 科	2		2	東北大学・治療：月 1 回、診断：週 1 日 岩手医科大学・治療：月 1 回 東北医科薬科大学・治療：月 2～3 回
麻 酔 科	6		6	東北大学・週 1 日 岩手医科大学又 (週末待機) 奥羽大学・週 1 日 中央病院・2ヶ月～4ヶ月単位での交代 フリーランス医師・月 2 回
緩和医療科	1		1	中部病院・月 1 回
歯科口腔外科	2		2	
病 理 科				刈田病院・週 2 日
研 修 医		12	12	
合 計	58	13	71	

(3) 組織図



(令和 元年8月1日現在)

10 医療統計

(1) 患者数・病床利用率・平均在院日数・診療単価

区分		年度				
		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
入院	許可病床数	315	315	315	315	315
	延患者数	90,596	90,390	89,595	91,449	89,663
	1日平均患者数	247.5	247.6	245.5	250.5	245.0
	新入院患者数	7,845	7,883	7,797	8,214	8,218
	1日平均患者数	21.4	21.5	21.4	22.5	22.5
	病床利用率 (%)	78.8	78.6	77.9	79.5	77.8
	うち一般 (%)	81.2	81.1	80.4	82.1	80.2
	平均在院日数 (日)	10.6	10.4	10.5	10.2	9.9
外来	延患者数	121,015	119,345	119,292	123,902	126,000
	1日平均患者数	498.0	491.1	488.9	507.8	525.0
	初診患者数	15,098	13,828	13,873	14,525	14,418
	1日平均患者数	62.1	56.9	56.9	59.5	60.1

(2) 診療科別患者数

診療科名		年度				
		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
内科	入院	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0
血液内科	入院	0	0	0	0	0
	外来	168	208	195	194	185
心療内科	入院	0	0	0	0	0
	外来	421	408	402	315	302
脳神経内科	入院	6,726	6,045	5,864	5,561	4,677
	外来	4,659	4,693	4,591	4,366	4,151
呼吸器内科	入院	5,513	4,743	4,430	5,292	5,930
	外来	4,419	4,463	4,603	5,079	5,640
消化器内科	入院	13,614	14,186	14,157	13,760	14,779
	外来	20,694	20,077	19,185	19,426	19,010
循環器内科	入院	4,934	6,073	5,926	5,699	5,176
	外来	4,172	3,829	3,757	4,074	4,187
小児科	入院	5,082	4,828	5,282	5,184	4,345
	外来	10,164	11,242	11,791	12,912	13,037
新生児科	入院	2,610	1,927	1,454	1,827	1,543
	外来	1,610	1,405	1,625	1,779	1,803

診療科名		年度		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
		入院	外来					
外科	入院	13,877	13,803	11,176	11,612	12,003		
	外来	15,523	15,905	15,503	15,230	15,082		
心臓血管外科	入院	0	0	0	0	0		
	外来	0	0	0	0	0		
整形外科	入院	8,515	9,106	10,082	10,071	9,683		
	外来	13,334	11,681	11,318	10,609	10,066		
形成外科	入院	1,827	1,372	1,501	1,827	1,668		
	外来	5,543	4,500	4,708	4,507	4,958		
脳神経外科	入院	4,101	3,962	4,410	3,530	3,650		
	外来	3,007	2,784	2,667	2,655	2,530		
皮膚科	入院	394	359	284	1,256	722		
	外来	8,372	7,999	8,101	8,539	8,684		
泌尿器科	入院	3,487	2,636	2,912	2,939	2,816		
	外来	4,946	4,921	5,090	5,123	5,298		
産婦人科	入院	8,869	10,784	11,539	10,890	11,015		
	外来	7,824	8,981	8,404	9,885	9,693		
眼科	入院	90	282	251	195	284		
	外来	1,181	2,243	2,697	2,908	3,361		
耳鼻いんこう科	入院	0	0	0	1,817	2,062		
	外来	2,774	2,664	2,534	4,349	5,223		
麻酔科	入院	0	0	0	0	0		
	外来	180	187	350	396	365		
放射線治療科	入院	4	102	0	90	80		
	外来	1,852	2,039	1,557	2,233	3,721		
画像診断科	入院	0	0	0	0	0		
	外来	167	151	148	118	139		
緩和医療科	入院	6,275	5,642	5,933	5,065	5,477		
	外来	1,318	1,109	957	1,037	906		
救急科	入院	4,096	3,976	3,889	4,412	3,353		
	外来	1,787	1,773	1,785	1,908	2,329		
総合診療科	入院	0	0	0	5	42		
	外来	0	64	1,146	1,077	1,034		
歯科口腔外科	入院	582	564	505	417	358		
	外来	6,900	6,019	6,178	5,183	4,296		
総 計	入院	90,596	90,390	89,595	91,449	89,663		
	外来	121,015	119,345	119,292	123,902	126,000		

(3) 救急患者数

区分		年度				
		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
患者数	標榜時間内	1,718	1,338	1,424	2,344	1,614
	標榜時間外	11,842	10,937	10,510	10,025	10,617
	計	13,560	12,275	11,934	12,369	12,231
	うち入院	3,257	3,097	3,153	3,270	3,163
うち救急車で搬送		2,865	2,488	2,724	2,700	2,616
うちドクターヘリで搬送		3	5	9	11	5

(4) 紹介・逆紹介

区分		年度				
		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
紹介患者数		4,597	4,605	5,123	5,148	5,372
逆紹介患者数		6,052	5,546	5,645	6,151	6,979
紹介率 (%)		63.5	67.2	70.9	67.3	71.2
逆紹介率 (%)		83.6	80.9	78.1	80.5	92.5

(5) 手術件数・分娩件数・死亡件数

区分		年度				
		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
手術件数		5,497	5,155	5,443	6,442	6,680
分娩件数		637	668	651	756	676
死亡件数		539	540	570	456	551

11 事業運営の状況

(1) 経営収支の状況

(金額単位：千円)

区 分	年 度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
1 医業収益		7,338,577	7,327,465	7,319,307	7,741,558	8,183,851
入院収益		4,659,056	4,707,242	4,590,518	4,830,446	4,985,122
外来収益		1,973,491	1,919,062	2,004,718	2,131,454	2,461,154
【小計】		6,632,547	6,626,304	6,595,236	6,961,900	7,446,276
その他医業収益		706,030	701,161	724,071	779,658	737,575
2 医業外収益		710,607	754,946	854,100	937,504	932,255
3 特別利益		0	0	0	0	0
収益合計		8,049,184	8,082,411	8,173,407	8,679,062	9,116,106
(うち一般会計繰入金)		(886,640)	(883,284)	(936,859)	(942,683)	(937,823)
1 医業費用		6,839,803	7,033,027	7,190,237	7,698,009	8,098,549
給与費		3,855,864	4,049,217	4,134,359	4,394,078	4,454,338
(うち給料)		(1,338,003)	(1,385,589)	(1,407,225)	(1,464,255)	(1,492,708)
(うち手当)		(1,385,663)	(1,464,043)	(1,506,438)	(1,694,171)	(1,722,895)
材料費		1,824,707	1,798,012	1,785,676	1,866,265	2,172,474
(うち薬品費)		(1,166,581)	(1,091,190)	(1,116,822)	(1,197,648)	(1,470,252)
(うち診療材料費)		(594,331)	(645,104)	(604,684)	(606,337)	(643,539)
経 費		868,698	859,913	873,593	952,573	953,651
(うち修繕費)		(94,553)	(71,275)	(59,761)	(94,967)	(84,537)
(うち委託料)		(350,220)	(363,293)	(370,094)	(382,538)	(418,703)
(うち保守料)		(88,374)	(87,995)	(85,394)	(70,901)	(75,663)
交際費		0	0	0	0	0
減価償却費		249,877	285,030	352,612	444,836	447,687
資産減耗費		10,057	8,838	10,024	5,965	33,392
研究研修費		30,600	32,018	33,974	34,292	37,008
2 医業外費用		439,699	427,886	424,939	424,525	468,869
(うち支払利息)		(217,236)	(204,597)	(199,970)	(190,231)	(179,839)
3 特別損失		16,168	0	0	167,027	54,515
4 共通管理費		385,416	379,642	377,556	382,754	408,446
費用合計		7,681,086	7,840,554	7,992,732	8,672,315	9,030,379
差引損益		368,098	241,857	180,674	6,747	85,727
累積損益		7,243,732	7,485,589	7,666,263	7,673,010	7,758,737

(2) 患者平均収益の状況

(金額単位：千円)

区 分		年 度				
		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
入院	1人1日平均収益	51,427	52,077	51,236	52,821	55,598
	1日平均患者数	247.5	247.6	245.5	250.5	245.0
外来	1人1日平均収益	16,308	16,080	16,805	17,202	19,533
	1日平均患者数	498.0	491.1	488.9	507.7	525.0

(3) 公衆衛生活動の状況

(単位：人)

区 分		年 度				
		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
集団検診		5,976	6,109	6,163	7,395	7,212
個人健診		3,003	3,257	3,530	3,167	2,670
予防接種		10,244	10,086	6,680	6,292	6,292
人間ドック		0	0	0	0	0

(4) 管理料・指導料等の実績

区 分		年 度				
		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
麻酔管理料 (件)		506	873	861	1,149	1,264
入院栄養食事指導料 (件)		907	1,012	946	906	984
外来栄養食事指導料 (件)		1,134	1,103	829	823	851
栄養サポートチーム加算 (件)		500	375	208	285	307
薬剤管理指導料 (件)		2,568	3,675	4,268	5,749	5,728
薬剤情報提供料 (件)		8,825	8,012	8,229	8,738	9,438
救急医療管理加算 (件)		19,051	18,428	17,913	17,511	17,446
検体検査管理加算 (件)		30,905	31,142	32,086	33,968	34,741
外来迅速検体検査加算 (件)		102,264	100,570	102,883	106,699	109,994
診療情報提供料 (件)		6,027	5,575	5,631	6,055	6,933
外来化学療法加算 (件)		2,007	2,156	2,228	2,512	2,801
入退院支援(27年度まで「調整」)加算 (件)		3,261	3,103	3,137	3,366	3,618
院内トリアージ実施料 (件)		4,317	4,624	2,815	4,484	4,435
褥瘡ハイリスク患者ケア加算 (件)		1,116	1,152	859	769	806
がん診療連携拠点病院加算 (件)		298	222	258	198	196
がん患者指導管理料 (件)		468	434	501	523	1,559
院外処方率 (%)		82.7	84.1	84.6	84.2	83.5
医療相談 (件)		10,681	10,295	8,063	9,970	9,461

12 指定医療機関・学会認定

(1) 指定医療機関

保険医療機関

国民健康保険療養取扱機関

労災保険指定病院

基幹型臨床研修指定病院

生活保護指定病院

第二種感染症指定医療機関

救急告示病院

二次救急病院群輪番病院

養育医療指定病院

母体保護法指定病院

原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱病院

地域がん診療連携拠点病院

D P C 対象病院

指定自立支援医療機関（育成医療、更生医療、精神通院公費）

地域周産期母子医療センター

地域医療支援病院

(2) 学会認定

日本内科学会認定医制度教育関連病院

日本外科学会外科専門医制度修練施設

日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設

日本神経学会専門医制度認定准教育施設

日本整形外科学会専門医制度認定研修施設

日本形成外科学会教育関連施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設

日本麻酔科学会麻酔科認定病院

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

乳房検診撮影認定施設（第 267 号）

日本口腔外科学会准研修施設

日本救急医学会救急科専門医指定施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医補完研修施設

日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医補完研修施設

日本消化器外科学会専門医修練施設

日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設

日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会専門医制度認定施設

日本緩和医療学会認定研修施設

日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム（NST）専門療法士実地修練認定教育施設

日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム（NST）稼働施設
 日本高血圧学会専門医認定施設
 日本消化管学会胃腸科指導施設
 日本小児科学会小児科専門医認定研修施設
 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設

13 緩和ケア病棟の概要

(1) 緩和ケア病棟設立経過

2000年 院内に緩和医療研究会発足
 2002年 在宅緩和ケアモデル事業
 2003年 新病院に緩和ケア病棟開設決定
 ※ 県内初の開設（県立病院改革実施計画）
 2004年5月10日 緩和医療科開設
 2006年4月1日 新病院開院
 4月10日 緩和ケア病棟開棟
 2007年1月1日 緩和ケア病棟入院料施設基準届出
 2008年7月1日 専従医師退職のため緩和ケア病棟入院料施設基準辞退
 2010年4月1日 専従医師着任
 7月1日 緩和ケア病棟入院料施設基準届出
 2018年3月2日 日本医療機能評価機構 副機能：緩和ケア病院認定

(2) 診療体制

緩和ケア外来（月曜日～金曜日）

医師1名、緩和ケア認定看護師1名

緩和ケアチーム

医師1名、がん性疼痛認定看護師1名、緩和ケア認定看護師2名、がん化学療法看護認定看護師1名、がん専門看護師1名、薬剤師3名、栄養士1名、理学療法士1名、医療社会事業士1名、精神科医師1名、臨床心理士1名、緩和ケアリンクナース7名

緩和ケア病棟

緩和医療科、各診療科

(3) 施設概要

病床数 24床（無料個室13室、有料個室7室、2床室2室）

スタッフ

緩和医療科医師	1名
看護師	17名（うち緩和ケア認定看護師 1名）
医療社会事業士	1名
事務委託職員	1名
緩和ケアボランティアコーディネーター	1名

(4) 病棟目標

当病棟では、患者さんの身体や心のつらさを和らげ、患者さん・家族の意思を大切にして「その人らしく」穏やかな毎日を過ごすことをめざします。

(5) 病棟基本方針

- ・ 患者さんの価値観を尊重します。
- ・ 痛みや不快な症状の軽減に努めます。
- ・ ご家族を含めた看護を提供します。
- ・ 過ごしやすい生活環境を整えます。
- ・ 患者さんとご家族のQOL向上を目指した生活の援助を多職種チームで行います。

(6) 入棟基準

- ・ がんを患っている
- ・ そのために苦痛な症状がある
- ・ 本人が（家族）が希望している

(7) 入棟判定会議（随時）

【メンバー】

病院長、緩和医療科医師、主治医、病棟師長、医療社会事業士、緩和ケアチーム看護師

(8) 病棟運営（実績）

区分 年度	病棟 利用率	入棟状況	自宅退院 施設退院	死亡退院
平成 26 年度	61.5%	188 人	48 人	149 人
平成 27 年度	70.0%	178 人	46 人	127 人
平成 28 年度	64.0%	165 人	40 人	134 人
平成 29 年度	66.1%	186 人	47 人	139 人
平成 30 年度	57.7%	197 人	43 人	129 人
令和元年度	62.3%	207 人	51 人	153 人

当院臨床研修の概要

研修理念

岩手県立磐井病院理念を理解し、常に病むものとあり、救急医療、地域医療に貢献できる医師となるようにプライマリ・ケアの基本的な診察能力(知識、態度、技能)を身に着け、社会常識の涵養、人格の陶冶に努める。

研修目標

- 1 : On the job training で多数の実経験を積む
- 2 : 最短で専門医資格をとる
- 3 : 2 年次で救急外来を仕切る
- 4 : 知識や技能だけでなく、医師としての人間性も磨く

臨床研修プログラム

内科6ヶ月				麻酔 2ヶ月	救急 1ヶ月	外科 1ヶ月
※当直・救急						

※救急外来の日当直診療は1年次の5月から開始し、当直に関しては当面の間は24時間までの副当直、秋頃から翌日までの当直診療とする

※地域医療は2年次で研修

2019 年磐井病院臨床研修プログラム

(1)プログラム名称

岩手県立磐井病院臨床研修プログラム(プログラム番号 030780401)

(2)プログラム責任者

佐々木 昭人(第2神経内科長)

(3)臨床研修区分(施設番号:030780)

臨床研修指定病院 2003年 10月27日

基幹型臨床研修病院 2003年 10月27日

(4)研修協力施設

《協力施設》*地域医療研修

施設	研修責任者	住所	電話
岩手県立千厩病院*	宗像 秀樹	一関市千厩町千厩草井沢 32-1	0191-53-2101
医療法人社団愛生会昭和病院*	杉内 登	一関市田村町6-3	0191-23-2020
一関市国民健康保険藤沢病院*	椎名 良直	一関市藤沢町藤沢字町裏 52 番地 2	0191-63-5211
岩手県立軽米病院*	横島 孝雄	九戸郡軽米町軽米第2地割54-5	0195-46-2411
国立病院機構岩手病院*	堅山 真規	一関市山目泥田山下48	0191-25-2221
医療法人西城病院*	水野 生一	一関市八幡町2-43	0191-23-3636
特定医療法人博愛会一関病院*	佐藤 隆次	一関市大手町3-36	0191-23-2050
岩手県立大東病院*	杉山 照幸	一関市大東町大原川内128	0191-72-2121
岩手県立南光病院(精神科)	馬場 克司	一関市狐禅寺字大平 17	0191-23-3655
一関保健所	杉江 琢美	一関市竹山町7-5	0191-26-1415
岩手県赤十字血液センター	中居 賢司	岩手県盛岡市三本柳6地割1	019-637-7200
特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院*	谷藤 幸夫	岩手県盛岡市繫字尾入野 64-9	019-689-2101
独立行政法人国立病院機構 花巻病院*	八木 深	岩手県花巻市諏訪 500 番地	0198-24-0511

2019 年磐井病院臨床研修プログラム

研修期間

2019 年 4 月 1 日—2021 年 3 月 31 日

募集定員

8 名

プログラムの特徴

Point 1:

臨床研修必修化以前から 30 年以上にわたり研修医を受け入れてきた実績があり、地域医療の核となる中規模病院ならではの風通しの良いアットホームな雰囲気の中で研修が行われ、更に自由選択科目履修期間を長く設定しており、研修医の希望に応じた柔軟なローテーションを提供します。

Point 2:

当院は岩手県南・宮城県北の人口約 15 万人の医療圏をカバーする基幹病院であり、各診療科では common disease に対するプライマリ・ケアから専門的な診療まで幅広く対応しており、また救急診療では一次救急及び二次救急患者が多数来院するため、2 年間の初期研修で自然にかなりの実力が身につきます。

Point 3:

各科でのローテーションでは医療現場での On the job training を最重視した実践的な研修を行っており、研修医の希望や診療スキルに応じて各種手術の術者や新患外来を担当するなど、チームの一員として研修を行ってまいります。

また、研修医を減点法でなく加点法で評価するため、研修医が失敗を恐れずどんどんチャレンジできる環境になっています。

Point 4:

建物が一体化している岩手県立南光病院で精神科研修を行うなど、殆どの必修科（選択必修含む）を敷地内で研修可能であり、また「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群相互乗り入れプログラム」によって岩手県内 13 の臨床研修基幹病院（当院含む）での「たすきがけ研修」が可能であり、より専門的な研修や特異な症例を体験できる機会を増やし、キャリア形成を応援できる態勢を構築しております。

研修可能診療科（必修診療科および選択診療科）

消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、外科、産婦人科、小児科・新生児科、救急科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、画像診断科、放射線治療科、耳鼻いんこう科、総合診療科

イーハトーヴ臨床研修病院群相互乗り入れプログラム

岩手県内 13 の基幹病院（当院含む）で数か月研修できる「たすきがけ研修」が可能です。より専門的な研修や特異な症例を体験できる機会を増やし、キャリア形成を応援できる体制を整えております。

2019 年磐井病院臨床研修プログラム

研修カリキュラム

1. 各診療科ローテーション研修

必修診療科 14 ヶ月、自由選択 10 ヶ月で On the job training を基本とした診療科研修を行います。自由選択については「イーハトーヴ臨床研修病院群相互乗り入れプログラム」での岩手県内他の研修病院での「たすきがけ研修」が可能です。

2. 院内オリエンテーション、メディカルスタッフ研修(1年次4月前半)

研修開始直後に2週間にわたって行われる院内オリエンテーションであり、電子カルテの使い方やシミュレーターを用いた各種手技のトレーニング、看護師や検査技師、薬剤師などメディカルスタッフの業務を体験する。

3. 救急症例検討会(毎週月曜夕方)

研修医が経験した診断に苦慮した症例など教育的な症例について検討する、研修による研修医のための勉強会。

4. 感染症勉強会(毎週火曜朝)

ICDやICMTによる感染症の診断や治療に関する講義。グラム染色の所見から起炎菌を細菌培養の結果を待たずに同定し初期治療を開始する方法など、実践的内容を多く盛り込んでいる。

5. 画像診断勉強会(不定期木曜日)

岩手県立中部病院放射線科熊坂先生によるレントゲン、CT、MRIなどの読影、診断についてテレビ回線を使用した講義を受講する。

6. 救急外来における診療科毎の勉強会(5月~7月頃)

初期研修医を対象とした各診療科指導医による救急外来での対処方法についてのミニレクチャー。

7. CPC(死亡症例検討会)

主治医が臨床経過等についてプレゼンテーションした後に診断や治療方針についてディスカッションを行い、その後に病理医が病理所見について解説し、症例の診断に至るプロセスの合理性、治療の妥当性、画像所見や検査所見の整合性や矛盾点などを議論する。

8. 診療に関する各種講習会への参加

BLS(一次救命処置)、ACLS(二次救命処置)、PALS、緩和ケア講習会、新生児蘇生法講習会の5つについては履修を必修として研修医の参加を義務づけている(参加費、旅費は病院支給)。

9. 医療安全、ICT、NSTに関する院内ラウンドへの参加

上記ラウンドに各自最低1回は参加する。

2019 年磐井病院臨床研修プログラム

10. キャンサーボードミーティング(毎月第3木曜日)

各診療科持ち回りで臨床的に問題となる癌症例について他職種で討論を行う。

11. 一関市医師会症例検討会(毎月第2火曜日)

各医療機関(病院、診療所)の医師が診断困難症例等について互いに持ち寄り討論を行い、また当院に紹介となった症例の経過について当院医師がプレゼンテーションを行う。

12. 岩手県内臨床研修合同オリエンテーション(1年次4月)

岩手県内1年次研修医が一堂に会し、シミュレーターを用いたトレーニングや臨床推論、癌の告知等について体験、また救急医療やEBM、プロフェッショナリズムに関するレクチャーなどを受講する(岩手県臨床研修病院群の事業)。

13. レジデントスキルアップセミナー

岩手県内2年次研修医が一堂に会し、advanced OSCE等による形成的評価が行われ、各自のスキルアップを図る(岩手県臨床研修病院群の事業)。

14. 各種参加が義務づけられている院内講習会

院内医療安全研修会、院内感染症研修会は全職種参加必須となっている。

15. 献血診療研修(2年次不定期)

献血移動車(バス)に同乗し、医師として献血業務を担当する。

16. 学会活動

2年間の初期研修期間内に、各学会の総会、大会、地方会や各種研究会などにて2回以上の口演発表を目標とし、少なくとも1回発表することを義務とする。また、2年間の初期研修期間内に症例報告等の論文を1篇作成することを目標とする。

身分

2019 年磐井病院臨床研修プログラム

臨時の嘱託員（1日7.75時間、週38.75時間勤務）

任用期間

2年。初期研修修了後に後期研修医として採用可能

待遇

1. 給与月額：1年次 345,000円、2年次 395,000円
2. 手当：宿日直手当 10,500円（1年次） 21,000円（2年次）
※1年次の当直研修は、時間外勤務手当として支給する
3. 支給見込み額：1年次 494,465円 2年次 600,330円
（宿直4回、時間外勤務40時間として積算）
4. 休暇：年次休暇取得可能日数 1年次 10日、2年次 11日
（夏季休暇5日、年末年始の休日6日程度、特別休暇）
5. 協会けんぽ・厚生年金保険加入、労災保険適用
6. 宿舎：公舎を貸与（月額7,970円） 独身者2K（バス・トイレ）※妻帯者には別途考慮
24時間保育所を併設
7. 医局にデスク・ロッカー
8. 白衣無償貸与（洗濯含む）
9. 賠償保険：病院保険に加入済、医師保険は任意加入
10. 学会出張：年120,000円
11. インターネット常時接続（研修医全員にPCとipadを貸与）
12. 医中誌web、医中誌DDS、METEO（メディカルオンライン）より即時、文献入手可能
13. 今日の診療指針インターネット版により、キーワードで診断、治療法が一目でわかる
14. Procedures Consult（種々の手技を動画で見られるサービス）

当直

4～5回程度

安全管理

研修中は上級医に処置、処方の確認を求めること。

研修医評価

各科ローテーション終了時に、指導医、コメディカル、自らの評価を受け、スキルアップに努める。

当院の協力型臨床研修病院

2019 年磐井病院臨床研修プログラム

《協力型臨床研修病院》

協力型臨床研修病院	研修責任者	所在地	連絡先
岩手県立中央病院	池端 敦	盛岡市	019-653-1151(内線 2387)
岩手県立中部病院	田村 乾一	北上市	0197-71-1511
岩手県立胆沢病院	米田 真也	奥州市	0197-24-4121
岩手県立大船渡病院	小笠原 敏浩	大船渡市	0192-26-1111
岩手県立釜石病院	坂下 伸夫	釜石市	0193-25-2011
岩手県立宮古病院	村上 晶彦	宮古市	0193-62-4011
岩手県立久慈病院	遠野 千尋	久慈市	0194-53-6131
岩手県立二戸病院	佐藤 昌之	二戸市	0195-23-2191
岩手県立南光病院	馬場 克司	一関市	0191-23-3655
岩手医科大学附属病院	下沖 収	盛岡市	019-651-5111(内線 3531)
盛岡赤十字病院	松田 壮正	盛岡市	019-637-3111
北上済生会病院	一戸 貞文	北上市	0197-64-7722
盛岡市立病院	近藤 公亮	盛岡市	019-635-0101

2019 年磐井病院臨床研修プログラム

専門医への道 ～初期研修修了後の進路～

2013 年度修了研修医

後期研修 3名 外科1 消化器1 救急科1

院外 2名 岩手医大1 岩手県中央1

2014 年度修了研修医

後期研修 3名 外科1 消化器1 麻酔科1

院外 4名 東北大1 南光病院3 大阪医療センター1

2015 年度修了研修医

後期研修 1名 救急科兼画像診断科1

院外 6名 岩手県中央1 岩手医大2 東京医療センター1
国際医療研究センター病院1 信州大学病院1

2016 年度修了研修医

後期研修 2名 救急科1 外科1

2017 年度修了研修医

後期研修 3名 整形外科1 小児科1 外科1

院外 6名 岩手医大4 岩手県中部1 仙台医療センター1

2018 年度修了研修医

後期研修 1名 消化器内科1

院外 3名 岩手医大1 東北大1 横浜市立大学附属市民総合医療センター1

2019 年度修了研修医

後期研修 3名 外科2 消化器内科1

院外 5名 東北大1 東北労災1 東京女子医科大学八千代医療センター1
順天堂大学医学部附属静岡病院1 神奈川県立足柄上病院1

2019 年磐井病院臨床研修プログラム

研修医出身大学一覧

大学名	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
東北大学	1	2	3	3	4	3	3	1	2	1	3	4
岩手医大	1	1	2				2		4	2	2	2
秋田大学		2										1
山形大学			3						1			
福島医大	1	1										
宮崎大学		1										
群馬大学												
女子医大												
獨協大学				2							1	
埼玉医大					1							
山梨大学	1											
北海道大					1							
弘前大									1	1		
旭川医大						1						
新潟大						1			1			
産業医大						1						
信州大											1	
九州大								1※			1	
琉球大												1
ナイロビ大							1					
延世原州医								1				

※2年次より当院で研修開始

全部門対象研修会開催状況

研修内容	開催月日	講師・主催	場所
第110回岩手緩和ケアテレカンファランス(テレビ会議システム) 「久慈地区による終末期患者の看取りのあり方の再検討」	2019/04/15	岩手県立久慈病院	多目的会議室
がんセンターボードミーティング(緩和医療科) 「肺癌と肺結核の重複癌」	2019/04/19	岩手県立磐井病院 緩和医療科長 平野 拓司	多目的会議室
岩手県立南光病院 認定看護師講演会 「精神障害を持つ方への対応について」	2019/04/24	岩手県立南光病院 精神科認定看護師 中山 聡 氏	多目的会議室
県立病院医学会 緩和医療研究会分科会(テレビ会議システム) 「がん患者のレジリエンスと、スタッフのレジリエンス」	2019/05/10	国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科長 清水 研 氏	多目的会議室
第111回岩手緩和ケアテレカンファランス(テレビ会議システム) 「緊急入院で身体症状の強かった患者・家族のケア」	2019/05/20	岩手県立二戸病院	多目的会議室
がんセンターボードミーティング(化学療法科) 「胃癌術後、右腹部腫瘍が再発した症例」	2019/05/23	岩手県立磐井病院長 加藤 博孝	会議室A
医療安全研修会(必須) 「個人情報の取り扱い」	2019/05/28	岩手県立磐井病院 主任主査診療情報管理士 中村 仁	多目的会議室
感染対策研修会 「N95マスク(定量)フィットテスト」	2019/05/28 2019/06/12	岩手県立磐井病院 感染看護認定看護師 松澤 亮	会議室A
「人生の最終段階における医療・ケアにかかる事前確認書の運用研修会」	2019/06/05	岩手県立二戸病院 副院長 高橋 浩 氏	多目的会議室
第112回岩手緩和ケアテレカンファランス(テレビ会議システム) 「小さな町のがん看護ケア相談窓口の取組み」	2019/06/17	岩手県立大船渡病院	多目的会議室
がんセンターボードミーティング(外科) 「十二指腸乳頭部癌」	2019/06/20	岩手県立磐井病院 第1外科長 阿部 隆之	会議室A
第1回感染研修会(必須) 「あなたと病院を守る手指衛生」 「今日からできる手荒れ予防」	2019/06/20 2019/07/03	岩手県立磐井病院 感染制御認定臨床微生物検査技師 高橋 幹夫 皮膚・排泄ケア認定看護師 千葉 良子	多目的会議室
医療安全研修会(必須)フォロー研修 「個人情報の取り扱い」	2019/06/25 2019/07/04	岩手県立磐井病院 主任主査診療情報管理士 中村 仁	多目的会議室
第113回岩手緩和ケアテレカンファランス(テレビ会議システム) 岩手医科大学附属病院高度看護研修センター講演会 「家族ケア～困った場面の解決法～」	2019/07/08	駒沢女子大学看護学部 家族看護実践センター 教授 畠山 とも子 氏	多目的会議室
県立病院医学会 緩和医療研究会分科会(テレビ会議システム) 「動き始めた倫理コンサルテーションチーム～国立がん研究センター中央病院での経験から～」	2019/07/11	東北大学大学院文学研究科 准教授 国立がん研究センター中央病院 生命倫理部長 田代 志門 氏	多目的会議室
第1回AST研修会(抗菌薬適正使用研修会) 「抗菌薬適正使用のキホン」	2019/07/22 2019/07/26	岩手県立磐井病院 副臨床検査技師長 安藤 隆子 薬剤師 田村 保直	多目的会議室
県立病院医学会 精神分科会(テレビ会議システム) 「岩手の子どもの現状～いわてこどもケアセンターの活動から～」	2019/07/23	いわてこどもケアセンター 副センター長 八木 淳子 氏	多目的会議室
がんセンターボードミーティング(消化器内科) 「肺癌により十二指腸狭窄をきたした在宅中心静脈栄養の方針となった一例」	2019/07/25	岩手県立磐井病院 消化器内科医師 牛山 心平	多目的会議室
県立病院医学会 医療安全分科会(テレビ会議システム) 「チーム医療とは何ですか。何ができるとよいですか。－エビデンスに基づいたチーム医療:チームSTEPPS」	2019/07/31	国立保健医療科学院 上席主任研究官 種田 憲一郎 氏	多目的会議室
がんセンターボードミーティング(泌尿器科) 「前立腺がん、脊椎転移、脊椎損傷」	2019/08/22	岩手県立磐井病院 泌尿器科長 竹田 篤史	5階会議室
第114回岩手緩和ケアテレカンファランス(テレビ会議システム) 「独居を自宅で看取る！」	2019/09/09	岩手県立磐井病院 緩和医療科・緩和ケア病棟	多目的会議室
第2回AST研修会(抗菌薬適正使用研修会)フォロー研修 「抗菌薬使用時の注意点」 「症例:医師・看護師からのバイタルサインが重要であった症例」	2019/09/18 2019/09/27	岩手県立磐井病院 AST薬剤師 田村 保直 臨床検査技師長/ICT委員長 高橋 幹夫	多目的会議室
がんセンターボードミーティング(産婦人科) 「卵巢境界悪性腫瘍再発」	2019/09/19	岩手県立磐井病院 産婦人科医師 大塚 康二	会議室A
県立病院医学会 医療安全分科会(テレビ会議システム) 「医療安全におけるコミュニケーション」	2019/09/20	京都大学大学院医学研究科・医学部 医療安全学 教授 松村 由美 氏	多目的会議室
第2回AST研修会(抗菌薬適正使用研修会)フォロー研修 「抗菌薬使用時の注意点」 「症例:医師・看護師からのバイタルサインが重要であった症例」	2019/10/02 2019/10/03 2019/10/09	岩手県立磐井病院 AST薬剤師 田村 保直 臨床検査技師長/ICT委員長 高橋 幹夫	多目的会議室
第2回感染研修会(必須) 「秋から冬の感染症」	2019/10/11	岩手県立磐井病院長 加藤 博孝	多目的会議室
がんセンターボードミーティング(呼吸器内科) 「原発不明癌の一例」	2019/10/17	岩手県立磐井病院 呼吸器内科長 駒木 裕一	会議室A

全部門対象研修会開催状況

研修内容	開催月日	講師・主催	場所
第115回岩手緩和ケアテレカンファランス(テレビ会議システム) 「症状の増悪に伴い療養先の選択が揺れ動いた症例」	2019/10/21	岩手県立中央病院	多目的会議室
認定看護師会主催自主参加型研修会 「アドバンス・ケア・プランニングを理解しよう」	2019/11/12	岩手県立磐井病院 がん看護専門看護師 千葉 美穂	多目的会議室
県立病院医学会 麻酔・ペイン分科会(テレビ会議システム) 「慢性疼痛患者の中核性感作と脳機能画像～慢性疼痛診療体制の現状と課題～」	2019/11/15	滋賀医科大学 医学部附属病院 ペインクリニック科長 病院 教授 福井 聖 氏	多目的会議室
NST研修会 「高齢者の水分・栄養管理(フレイル・サルコペニア)」 「当院における嚥下調整食分類に基づいた食形態について」	2019/11/18	株式会社大塚製薬工場 磐井病院 栄養管理科 瀬川 さゆり 管理栄養士	多目的会議室
第116回岩手緩和ケアテレカンファランス(テレビ会議システム) 「死期が迫る母の延命を望む娘への関わり」	2019/11/18	岩手県立中部病院	多目的会議室
県立病院医学会 循環器分科会(テレビ会議システム) 「本邦における重症心不全治療の課題と今後の展望」	2019/11/29	東京大学心臓外科 教授 小野 稔 氏	多目的会議室
県立病院医学会 感染対策分科会(テレビ会議システム) 「他職種で取り組む薬剤耐性(AMR)対策」	2019/12/06	AMR臨床リファレンスセンター 情報・教育支援室長 具 芳明 氏	多目的会議室
第117回岩手緩和ケアテレカンファランス(テレビ会議システム) 「筋萎縮性側索硬化症患者 終末期の関わり」	2019/12/16	岩手県立釜石病院	多目的会議室
カンサボードミーティング(緩和医療科) 「胆管細胞癌の一例～患者さんの意志決定支援を約1年前に行った症例のその後～」	2019/12/19	岩手県立磐井病院 緩和医療科長 平野 拓司	会議室A
県立病院医学会 泌尿器分科会(テレビ会議システム) 「小児泌尿器科疾患の初期対応」	2019/12/19	秋田大学医学部附属病院 泌尿器科 助教 奈良 健平 氏	多目的会議室
カンサボードミーティング(外科) 「大腸癌バイパス手術後、肝転移に対して化学療法中の症例」	2020/01/16	岩手県立磐井病院 第2外科長 桂 一憲	会議室A
第118回岩手緩和ケアテレカンファランス(テレビ会議システム) 「診断未確定のうちに急激に進行した壮年期胃癌患者との関わり」	2020/01/20	岩手県立千厩病院	多目的会議室
県立病院医学会 精神分科会(テレビ会議システム) 「岩手の子どもの現状～いわてこどもケアセンターの活動から～」	2020/01/21	いわてこどもケアセンター 副センター長 八木 淳子 氏	多目的会議室
県立病院医学会 リハビリテーション分科会(テレビ会議システム) 「地域リハビリテーション」	2020/01/29	いわてリハビリテーションセンター 理事長 大井 清文 氏	多目的会議室
県立病院医学会 一般・消化器外科分科会(テレビ会議システム) 「栄養療法の面白さ 特に亜鉛の重要性について」	2020/01/30	公益社団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院 院長 土屋 誉 氏	多目的会議室
医療安全研修会(必須) 「緊急コール」	2020/01/31	岩手県立磐井病院 蘇生支援チーム・医療安全管理室	多目的会議室
県立病院医学会 医療安全分科会(テレビ会議システム) 「医療安全もONE TEAMで！」	2020/02/06	岩手医科大学 安全学講座 教授 肥田 圭介 氏	多目的会議室
第119回緩和ケアテレカンファランス(テレビ会議システム) 「難治性疼痛へチーム介入し改善が得られた一例」	2020/02/17	岩手県立胆沢病院	多目的会議室
カンサボードミーティング(消化器内科) 「卵巣境界悪性型腫瘍術後の再発と鑑別を要した原発不明癌の1例」	2020/02/20	岩手県立磐井病院 消化器内科医長 菅澤 学	会議室A
保険診療研修会 「診療報酬改定説明会」	2020/03/19	岩手県立磐井病院 医事経営課	多目的会議室
排尿ケア(排尿自立指導)に関する研修会 「排尿ケア(排尿自立指導)の手順」 「排尿ケア(排尿自立指導)の診療報酬について」	2020/03/24	岩手県立磐井病院	多目的会議室
カンサボードミーティング(外科)	2020/03/26	岩手県立磐井病院 消化器外科長 上村 卓嗣	会議室A

地域医療従事者研修実績一覧

No.	開催年月日	研修会名	テーマ	講師	参加者数	
						外部参加 (再掲)
1	4月9日	一関市医師会症例検討会	症例検討	—	8	4
2	5月14日	一関市医師会症例検討会	症例検討	—	9	2
3	6月11日	一関市医師会症例検討会	症例検討	—	6	3
4	6月19日	第1回緩和ケアチーム研修会	「“PCAポンプ CADD” “カフティポンプ”の取り扱い」	スミスメディカル	21	3
5	7月9日	一関市医師会症例検討会	症例検討	—	8	3
6	7月12日	褥瘡研修会	「褥瘡治療のカギを握る栄養素「亜鉛」 褥瘡と亜鉛の関係について」	岩手県立磐井病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 千葉 良子 臨床検査技師 小原 貴恵 株式会社シノテスト 射場 伸之 氏	42	—
7	7月19日	褥瘡研修会	「褥瘡治療のカギを握る栄養素「亜鉛」 褥瘡と亜鉛の関係について」	岩手県立磐井病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 千葉 良子 臨床検査技師 小原 貴恵 株式会社シノテスト 射場 伸之 氏	35	—
8	7月30日	第2回緩和ケアチーム研修会	「がん疼痛薬物療法」	岩手県立磐井病院 緩和医療科長 平野 拓司 緩和認定薬剤師 佐藤 和文	35	11
9	9月10日	一関市医師会症例検討会	症例検討	—	7	3
10	10月8日	一関市医師会症例検討会	症例検討	—	7	3
11	11月1日	褥瘡研修会	「こんなときどうする？褥瘡ケア～栄養・薬剤・リハビリの視点から～」	岩手県立磐井病院 褥瘡予防対策委員会	49	27
12	11月12日	一関市医師会症例検討会	症例検討	—	8	2
13	12月10日	一関市医師会症例検討会	症例検討	—	6	1
14	1月14日	一関市医師会症例検討会	症例検討	—	8	3
15	2月4日	一関市医師会症例検討会	症例検討	—	5	2
16	2月21日	クリニカルパス検討会	クリニカルパスと医療安全	静岡大学創造科学技術大学院 研究部 特任教授 小林 美亜 氏	60	9

令和元年度の主な出来事

対面式



看護の日



4月 1日	辞令交付式、対面式
4月 2日 ~ 4月 4日	新採用者・転入者オリエンテーション
4月12日 ~ 4月13日	研修医合同オリエンテーション (安比)
4月23日	臨床研修医歓迎会
4月26日	病院歓迎会 (サンルート一関)
5月14日 ~ 5月16日	ふれあい看護体験

進路選択セミナー



一関市内中学生社会体験学習



一関夏祭り

「第47回くるくる踊り大パレード」



6月29日	南部地区県立病院球技大会
7月6日	緩和ケア病棟市民見学会
8月2日	医療職に係る進路セミナー
8月3日	BFH（赤ちゃんにやさしい病院）認定授与式（母乳育児シンポジウム）
同日	一関夏祭り「第47回くるくる踊り大パレード」
8月11日	岩手県臨床研修病院合同面接会（アイーナ）
9月5日	看護学生のためのサマーセミナー

「こころば」8周年記念
桜町中学校コンサート



ピンクリボンツリー



一関市医療と介護の連携連絡会研修会



9月26日	屋上庭園を楽しむ会
10月19日	BFH認定記念講演会（一関保健センター）
10月22日	一関市医療と介護の連携連絡会研修会（一関保健センター）
10月24日	第58回全国自治体病院学会
10月30日	がん患者・家族サロン「こころば」8周年記念桜町中学校コンサート
11月16日	緩和ケア病棟「偲ぶ会」
11月22日	臨床研修病院合同説明会

一関第二高等学校がんの教育講演会



緩和ケア医療従事者研修会



12月 1日	第12回両磐地域緩和ケア従事者研修会
12月 6日	施設基準に係る適時調査
12月 7日	市内中学生進路選択セミナー
12月 27日	仕事納め式
1月 6日	仕事始め式
3月 9日	研修医さよなら講演会
3月 31日	病院離任式